

| | | | |
|----------------|---|------------------|------------------------------------|
| 科目名 | 欧米経済論 | 科目分類 | ■専門科目群 (第1グループ) □総合科目群 (第2グループ) |
| | | | 経済学科 □必修 ■選択 |
| | | | 学科 □必修 □選択 |
| 英文表記 | Western Economy | 開講年次 | □1年 ■2年 □3年 □4年 |
| ふりがな | たかちほ やすなが | 開講期間 | □前期 □後期 □通年 ■集中 |
| 担当者名 | 高千穂 安長 | 修得単位 | 2 単位 |
| 授業のテーマ | 世界経済は欧、米、アジアを中心に動いており、その中の2つの欧・米の経済について知ることにより、経済事象に対する的確な判断がくだせるようになる。 | | |
| 到達目標 | 経済記事が理解でき、自分の意見を表明できるようになる。 今後の日本を含めた世界経済の動向について正しい判断ができるようになる | | |
| 授業概要 | 欧州についてはEUの成立過程、現在の問題に焦点を当て、米国についてはイギリスの植民地の地位から、パックス・アメリカナに至る過程と現在かかえている課題について明らかにする。 | | |
| 授業計画 | | | |
| 第1回 | イントロダクション | | |
| 第2回 | 欧州概観 | 欧州の歴史と現在 | |
| 第3回 | 経済共同体 | 経済共同体とは | |
| 第4回 | 欧州統合へのステップ1 | 統合の背景、プロセス | |
| 第5回 | 欧州統合へのステップ2 | ECの成立 | |
| 第6回 | 欧州統合へのステップ (東側諸国) | コメコン | |
| 第7回 | EUの成立 | マーストリヒト条約 | |
| 第8回 | EUの拡大 | EUの東方拡大 | |
| 第9回 | EUの危機 | 通貨統合と債務問題 | |
| 第10回 | アメリカ概観 | アメリカの歴史と現在 | |
| 第11回 | 覇権の変化 | 欧州から米国への覇権の変化課程 | |
| 第12回 | 多国籍企業 | 世界経済 | |
| 第13回 | EUとアメリカ | EUとアメリカの関係 | |
| 第14回 | グローバル化の視点 今後のEU、アメリカの方向性 | | |
| 第15回 | 総復習 | 学生の理解が低い箇所について解説 | |
| 第16回 | 定期試験 | | |
| 授業時間外の学習 | 授業前に各授業時に配布されるレジュメについて目を通しておく 分からないことは自分なりに調べておく | | |
| 履修条件 受講のルール | 特にシークエンス条件はないが、地理・地勢的な状況等を地図で調べておくのが望ましい。 | | |
| テキスト | 毎回レジュメを次週のレジュメを配布する | | |
| 参考文献・資料 | 西尾夏雄・赤羽裕・池袋昌子編「世界経済危機と日本経済」(時潮社、2010年) | | |
| 成績評価の方法 | 出席が2/3に満たない場合、授業料その他納入金未納の場合は受験を認めない。また、遅刻(開始後10分まで)は3回で1回欠席とする。成績評価は、受講態度(含討議参加度)など平常点45%、期末テスト55%とする。 | | |
| オフィスアワー | 集中講義時間はいつでもオープン | | |
| 成績評価基準 | 秀(100~90)優(89~80点)、良(79~70点)、可(69~60点)、不可(59点以下) | | |
| 学生へのメッセージ | 世界経済は欧米、アジアを中心に展開している。欧米の欧はEUが、米はアメリカが主体となるが、今の地位をどのように得たか大いに興味を持ち、関連したニュースなどにも注意を払うことが望ましい。 | | |